

## Max Classroom.net

## 入試問題アプローチ 2018

北里大学 薬学部入試

## A 入試概況

2019 年度入試の日程と方式 &lt;共通&gt;

学部	一般個別	センタープラス (センター+個別試験)	センター利用 (センター試験のみ)
薬	170 名		12 名
医	84 名		
看護	70 名		
医療衛生	276 名		
理	112 名		39 名
獣医	30 名	10 名	70 名
海洋生命科	25 名		30 名

大学全体の 3 年間の合格者数と倍率の変化

	2018 年度			2017 年度			2016 年度		
	受験者 数	合格者 数	倍率	受験者 数	合格者 数	倍率	受験者 数	合格者 数	倍率
一般個別	10,175	2,529	<b>4.0</b>	10,885	2,718	<b>4.0</b>	11,699	2,829	<b>4.1</b>
セ方式	4,404	1,509	<b>2.9</b>	4,195	1,457	<b>2.9</b>	5,111	1,452	<b>3.5</b>
合計	14,579	4,038	<b>3.6</b>	15,080	4,175	<b>3.6</b>	16,810	4,281	<b>3.9</b>

\*一般方式は前期・I 期、II 期のみ（後期・III 期は含まない）

\*センター利用方式は前期、中期のみ（後期は含まない）、センタープラス入試を含む

北里大学も入学定員充足率の厳格化により合格者を絞り込んでいるのが見て取れるが、理系はもともと研究施設などの関係で定員を大きく超過してこなかったことと、何よりも文高理低の傾向により、受験者が減っているため、倍率は大きな変化が見られず、むしろ 2016 年度と比較すると 2018 年度は落ち着いた競争となっている。

## 2018 年度入試 方式別の募集人数と倍率

		一般個別方式		センター方式	
		募集	倍率	募集	倍率
薬	生命創薬	25	<b>2.4</b>	5	<b>5.1</b>
	薬	160	<b>4.1</b>	30	<b>7.4</b>

## 過去 3 年間 方式別の受験者数、合格者数、倍率

		2018 年度入試			2017 年度入試			2016 年度入試		
		受験者	合格	倍率	受験者	合格	倍率	受験者	合格	倍率
生命創薬	一般個別	200	85	<b>2.4</b>	216	107	<b>2.0</b>	286	118	<b>2.4</b>
	センター	128	25	<b>5.1</b>	113	26	<b>4.3</b>	185	25	<b>7.4</b>
薬	一般個別	1,465	359	<b>4.1</b>	1,490	395	<b>3.8</b>	1,605	380	<b>4.2</b>
	センター	749	101	<b>7.4</b>	640	102	<b>6.3</b>	808	102	<b>7.9</b>

## 過去 3 年間 方式別の合格者平均偏差値

		2018 年度入試	2017 年度入試	2016 年度入試
生命創薬	一般個別	63.2	59.6	64.3
	センター	64.5	66.2	68.6
薬	一般個別	65.1	64.1	65.8
	センター	68.3	66.1	69.3

薬学部を方式別にみると、生命創薬、薬ともにセンター方式のほうが倍率、合格者平均 SS とともに高い。両学科とも、一般個別方式、センター利用方式ともに、2018 年度は 2017 年度より倍率が高くなっているが、2016 年度と比較すると、受験生が減っているため、一般個別方式では同倍率、センター利用方式に至っては倍率減となっている。合格者平均 SS を見ると、2017 年度にぐっとポイントが下がり、2018 年度に上向きに回復しているが、2016 年度の水準までは回復しきれていない。また、生命創薬のセンター利用は V 字回復ならず、2018 年度もポイントを下げ、2 年間で 4.1 ポイント下がっている。

## B 英語試験の概況

年によって問題数や形式に多少の変化はあるものの、大きな構成や傾向は変わっていない。2017 年までは 7 つの大問で構成されていたが、2018 年度は大問が 1 つ増え、8 つとなった。ただし、これも全体を見ると大きな傾向の変化とは言えるものではない。

全体の設問数はここ数年は 43～46 問となっている。大問 1 が 800 語台の長文読解で 12～16 問。大問 2 は文法語法問題が 6～8 問、大問 3 以降は 100～300 語程度の読解問題や会話問題が続いていく。以下に 2018 年、2017 年の 2 年分の構成を示す。

	2018 年度		2017 年度	
1	長文読解	16 問	長文読解	15 問
2	文法語法	6 問	文法語法	6 問
3	読解	3 問	読解	4 問
4	会話 空所補充	6 問	会話 空欄補充	6 問
5	ミニ会話	2 問	読解	4 問
6	読解	2 問	手紙文	4 問
7	メール文	3 問	読解 空所補充	5 問
8	読解 空所補充	5 問		

### 【時間と難易度の目安】

	内容・語数	時間	難度
1	長文読解	25～28	D
2	文法語法	4～5	C
3	読解	8～10	D
4	会話 空所補充	6～7	C
5	ミニ会話	(4)	B
6	読解	6～7	C
7	メール	6～7	B/C
8	読解 空所補充	6～7	C/D

\*大問 5 は 2018 年度に新しく出されたミニ会話問題である。実際には 4 分程度の時間目安であるが、この小さい時間配分を気にせず、大問 4 以降は従来の 4 題で各 7 分として取り組むことが望ましい。

時間制限、内容という両面において全体的に難易度がかなり高い。問題の質も高く、レベル的には早慶と比較してもさほど見劣りせず、理系としてはかなりチャレンジングな試験だと言える。MARCH 以上を受ける文系の生徒にもぜひトレーニングとして解いてほしい問題だ。私も実際 2 年分を解いたが、55 分で解き終わったが、それでも時間的に余裕をもって進めたわけではなく、力技でなるべく読み直しをせずに解いた結果である。文章の理解もあいまいな部分が残りに、選択肢を完全には絞り切れずに選んでいった箇所も少なくなく、5 問間違えた。

この試験で最大のポイントになるのは時間配分である。70 分の試験の中に大問が 7～8 つ出てくるの

だ。問題量の多い大問 1 はもちろんだが、大問 3 までの時間配分がカギを握ると感じている。そのため、大問 1、大問 2、大問 3 が終わった時点でそれぞれ何分残っているかを確認し、その後の問題の調整を整えるように考えよう。

まずは、大問 1 の長文をできれば 25 分、長くても 30 分未満でやり切る（上記では計算上 28 分という細かい時間を設定している）。そして、残りの 45 分弱で残りの 6～7 題をやり切ることが 1 つの目安になるだろう。大問 2 以降は長い文章は出てこず、150～300 語程度が相場の文であるが、文章レベルはやや難しいものも含まれる。大問 2 は 5 分、大問 3 は時間がかかるので 8 分とする。ここまでで累積して 40 分程度が費やされている。残り時間は 30 分である。

その後、大問 4 以下については原則 1 つ 6～7 分以内を目安に進めていく。もちろん 7 分もかからずに早く終わる問題もあり、中には 7 分以上かかってしまうものもあるだろうから、そこは個々の大問の進み具合によって時間を全体で調整する。

各大問のレベルは、やはり最初の長文は難しい。内容理解も難しいが、選択肢も難しいものが散見され、なかなか苦勞するだろう。大問 2 の文法、語法問題、大問 3 の読解（300 語程度）もなかなか難しく、D レベル（MARCH 上位レベル～早慶一般レベル）とした。時間配分だけでなく、ここまででどれだけ取れているかが合否ラインの 1 つの分かれ目であろう。大問 IV 以降はやややりやすい問題も多く、中にはとてもストレートに答えられる問題もある（2018 年度であれば大問 5、2017 年度であれば大問 6）。

配点は以下を 1 つのモデルとする。100 点の中に 42 問あるため、1 つの配点は 2～3 点と低いものになる。1 つ 1 つを丁寧に解くことも大切だし、その積み重ねが最終得点になるわけだが、時間が限られている中で、「3 問中、抑えるべき 2 問をしっかりと抑えよう」という意識で進めていくことが必要。「10 問落としても 7 割超える、15 問落としても 6 割超える」ぐらいの気持ちで、全体で 7 割を目指して解いていきたい。

	内容・語数	配点	合計
1	長文読解	問 1、問 3 問 3～問 5 (問 3 は各 2 点)	各 2 点 各 3 点 35 点
2	文法語法		各 2 点 12 点
3	読解		各 3 点 12 点
4	会話 空所補充		各 2 点 12 点
5	ミニ会話		各 2 点 4 点
6	読解		各 3 点 6 点
7	メール		各 3 点 9 点
8	読解 空所補充		各 2 点 10 点

C 出題形式ごとの分析とアプローチ

大問 1

【2018 年 大問 1】

I. 次の英文を読み、下記の設問に答えなさい。

Despite the wealth of scientific information about dogs — about how they see, smell, hear, look, learn — there are places science does not travel. It is  that some of the questions most often asked about dogs are not addressed by scientific research. On matters of personality, personal experience, emotions, and simply *what they think about*, science is quiet. Still, the <sup>(7)</sup> accumulation of data about dogs provides a good foothold\*<sup>1</sup> from which to conclude and reach toward answers to those questions.

The questions are typically of two kinds: *What does the dog know?* and *What is it like to be a dog?* So first, we will ask what dogs know about things of human concern. Then we can further imagine the experiences of the creatures that have this knowledge.  about what dogs know are made constantly. Oddly, they tend to collect around either the academic or the ridiculous. The former prompts researchers to ask if a dog knows how, for instance, to count sums. In one experiment, the dogs looked longer — showing surprise — when there were either more or fewer biscuits revealed behind a screen than they had been shown being hidden there one by one — indicating that they were keeping track of the number and noticing when there was a difference. *Ta-da*\*<sup>2</sup>: counting dogs.

In addition to all the cues that are seen and smelled, does the dog naturally know that it is dinnertime? There are dog owners who insist they can set the clock by their dog. When the dog moves to the door, it is <sup>(8)</sup> just the time to go out; when it moves to the kitchen, sure enough, it is time

(以下、省略)

問 1 本文中の  ~  の空欄に入る最も適切なものを、それぞれ  ~  の中から一つずつ選びなさい。

- |                                |                                     |                                    |                                 |
|--------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="text" value="1"/> | <input type="radio"/> infamous      | <input type="radio"/> deceptive    | <input type="radio"/> enviable  |
|                                | <input type="radio"/> uncomplicated | <input type="radio"/> perplexing   |                                 |
| <input type="text" value="2"/> | <input type="radio"/> Proofs        | <input type="radio"/> Permissions  | <input type="radio"/> Claims    |
|                                | <input type="radio"/> Approvals     | <input type="radio"/> Contests     |                                 |
| <input type="text" value="3"/> | <input type="radio"/> Entitled      | <input type="radio"/> Deprived     | <input type="radio"/> Permitted |
|                                | <input type="radio"/> Privileged    | <input type="radio"/> Watched over |                                 |

問2 本文中の下線部(7)～(10)の語に意味が最も近いものを、それぞれ ①～⑤の中から一つずつ選びなさい。

7 accumulation

- ① lessening                      ② corrupting                      ③ struggling  
 ④ collecting                      ⑤ scattering

8 just

- ① mistakenly                      ② precisely                      ③ doubtfully  
 ④ not often                      ⑤ almost not

問3 本文中の ア に入る部分を完成するため、①～⑤の語を最もよく意味の通るように以下の空欄に正しく並べ替えたとき、11 と 12 の空欄に入るものの番号をそれぞれ一つずつ選びなさい。ただし、各選択肢はそれぞれ一度しか使えません。

ア

there is a (            ) satisfaction in ( 11 ) deep (            ) a dog's (            ) looking  
 ( 12 ) at you

- ① back                              ② eyes                              ③ certain  
 ④ into                              ⑤ gazing

問4 本文中の イ に入る最も適切な英文を、①～⑤の中から一つ選びなさい。

- 13 ① but the humans who cannot say what dogs want us to understand  
 ② but this limitation makes it easy for us to accept dogs as our equals  
 ③ in fact, our own poor vision is what limits a dog's knowledge of its environment  
 ④ but it is we humans who desire them to talk, and yet, cannot make them achieve the act of speaking  
 ⑤ however, it is our own inability to understand dogs' voices that stands in the way of our love for them

問5 次の **14** ~ **16** の各英文の問いの答えとして最も適切なものを、それぞれ  ~  の中から一つずつ選びなさい。

**14** Which of the following statements about dogs is NOT true?

- There has been relatively little published research to explore whether dogs can think, and if so, what kinds of things they think about.
- Dogs have a large variety of methods of communication, which is consistent with their being social.
- There is some experimental evidence to show that dogs may be able to calculate sums.
- Like their ancestors, which greatly resembled today's wolves, dogs have a strong tendency to avoid eye contact with humans.
- The sense which dogs are primarily dependent on for getting information about their world is the sense of smell.

### 【形式】

800~900 語程度の長文に対し、以下の形式の問題が出される。設問は 2016 年までは 12 題だったが、2017 年は 15 題、2018 年は 16 題と少し数が増えている。

- ・問 1： 語句の空所補充（5~6 問程度）
- ・問 2： 下線部と同等の意味を持つ語句を選ぶ問題（4~5 問）
- ・問 3、問 4： 本文の空欄に入る英文や語句を補充する問題（2 問）  
（2018 年度の間 3 は補充する文の並び替え問題）
- ・問 5： 内容理解（3~4 問）

### 【分析】

過去 5 年間の本文の長さを見てみると、800~900 語程度と言える。文章のレベルはやや難しいものであり、わからない部分も残しつつ、なんとなく理解できる、といったもの。MARCH で言えば立教、大学の長文にレベルとしては近い感覚である。内容は大問 1 は生物、心理系が多いようだが、特段の背景知識を要求されるものではない。また、1 つの特徴として、理系の学術的な話が多いからか、巻末の注釈がとても多い。それ以外でも単語レベルは高く、Target 1900 は必須で身に付けたい。

過去 5 年間の長文の語数

2018 年	2017 年	2016 年	2015 年	2014 年
920 語	830 語	800 語	860 語	860 語

選択問題は5択。問1の語句補充の問題は見た目以上に難しく、表現を知っているから埋められるという趣旨のものではなく、その文が何を意味しているのか正確に把握し、埋めていく必要がある（特に2017年度の問題は難しく感じた）。問2の下線部の類似語句を選ぶ問題は、単語の知識だけでなく、下線部の意味を本文の文脈の中で正確に把握することが求められるが、問1よりは易しく感じる。問5については、抽象的な選択肢が多く、本文の文脈が正確に把握できていないと答えが絞れない問題もある。

### 【アプローチ】

まずは問5の設問文に目を通し、キーワードを確認する。本文と同じフレーズで設問文が与えられているところもあるため、限られた時間を有効に使うために、問1は（場合によって大問2も）1st Readingで解きながら進めていくことも1つのアプローチとして考えたい。設問のページに指を挟んでおいて、その箇所ごとに答えていくというやり方だ。ただし、後ろの文を読まないで正確な答えが絞れない問題もあるため、とりあえずの答えを埋めながらも、パラフラフや全体を読んだあとで修正すべきところは修正する。選択肢が絞り切れない問題は、空所の前後をしっかりと読み、関係性の高い単語がないか、といったことも含めて判断したい。

例えば、以下の問1の  を見てみよう。

Vocalizations, as well as do scent stance, and facial expressions, each function to communicate to other dogs, and if we know , to us as well.

- ① why they do it      ② which way to go      ③ when to respect them  
④ where to avoid      ⑤ how to listen

このパラグラフでは、犬はコミュニケーションを様々な方法でとっているが、私たちがそのことを十分に理解していない、という趣旨であるため、①「なぜそれを彼らがするのか私たちが知っていれば」、⑤「私たちが聞き方を知っていれば」の2つで迷うが、このパラグラフには“speak”“dumb”という言葉があり、それを中心に話が進んでいることに着目し、彼らのコミュニケーションに「人間が耳を傾ければ」というニュアンスを把握して⑤を選ぶ。

このように読みながら問1を答えていくのであれば、その作業込みで1st Readingは12分程度で終わらせ、残り13~14分で答えていくのが相場だろう。

問2からは1st Reading後に解くことになる。問2~問4は本文の文脈を正確に判断し、前後のキーワードを確認しながら選択肢を選ぶ。問3、問4は、接続詞があればそれを1つのヒントにして考えるとよい。問5は選択肢が抽象的に書き換えられていたりして、一筋縄には絞り切れないものがある。本文のニュアンスと選択肢のニュアンスを確認して、絞っていききたい。

時間は25分で解ききれると後が楽になるが、私でも正確に解こうとすると25分近くかかったもので、そのあとの時間配分を調整できるのなら30分まで使ってもいいだろう。正答率は問1、問2で7割、問3で6割を最低ラインとして死守したい（それでも配点の関係で6割半をやや割り込む形になる）。

大問 2

【2018年 大問2】

Ⅱ. 次の **17** ~ **22** の英文の空欄に入る最も適切なものを、それぞれ **1** ~ **5** の中から一つずつ選びなさい。

**17** The company's first quarter earnings will rise above current expectations ( ) strong domestic sales of our new product.

- 1** because                       **2** owing                       **3** in spite of  
 **4** except for                       **5** due to

**18** ( ) we cannot reduce expenses a great deal this quarter, we will be facing a major loss of profits.

- 1** For                       **2** Whereas                       **3** Whether  
 **4** Unless                       **5** If

**19** Our hospital is seeking a person to work as a medical receptionist. The candidate for this position may be ( ) to work on some weekends. Compensation is competitive.

- 1** required                       **2** delayed                       **3** refused  
 **4** refrained                       **5** determined

【形式】

文法語彙の空所補充。6問。

【分析・アプローチ・MAX感想】

文法的な問題と語彙表現の問題の両方が出るが、前者は比較的答えが出しやすい。後者は紛らわしい選択肢もあり、ものによってはすぐに答えが出ないものもある。6問しかないが、やや難しい問題も交じっており、4~5分ぐらいかかるだろうか。問1と問3の読解が難しいため、ここで大きく落とすことは避けたい。6問中最低4問、理想は5問とりたい。

大問 3、大問 5 or 6

【2018年 大問3】

Ⅲ. 次の英文はイギリスの小説家 Mary Shelley とその作品の *Frankenstein*\* についての評論文です。これについて下記の [23] と [24] の各英文に続くものや [25] の英文の問いの答えとして最も適切なものを、それぞれ ㊦ ~ ㊥の中から一つずつ選びなさい。

\**Frankenstein* は1818年に出版されたゴシック小説。ある科学者が科学的野心から人間を創造するが、その人間は世の中に受け入れられず、怪物となってしまう。科学者は怪物によって、恋人、そして自らも命を奪われる話。

Mary Shelley herself was the first to point out that her being deeply involved in the literary and scientific revolutions of her day was the source of her novel *Frankenstein*. Her extreme youth, as well as her being female, contributed to the generally held opinion that she was not so much an author in her own right as a transparent medium through which passed the ideas of those around her. "All Mrs. Shelly did," wrote Mario Praz, "was to provide a passive reflection of some of the wild fantasies which were living in the air about her."

Passive reflections, however, do not produce original works of literature, and *Frankenstein*, if not a great novel, was unquestionably an original one. The major literary tradition to which it *should* have belonged was to the literature of the *overreacher*: the superman who breaks through normal

(以下、省略)

[23]

The primary purpose of this passage is to

- ㊦ discount Mary Shelley's contribution to the literary world of fantasy.
- ㊧ trace Mary Shelley's familiarity with the scientific and literary theories of her day.
- ㊨ reaffirm Mary Shelley's reputation by stressing the innovative qualities in her work of fiction.
- ㊩ dismiss the importance of the literary tradition to which *Frankenstein* belonged.
- ㊪ demonstrate the influence of Shelley's *Frankenstein* on other examples in its literary genre.

[24]

The passage quotes Mario Praz primarily in order to

- ㊦ support the writer's perception of Mary Shelley's uniqueness.
- ㊧ illustrate recent changes in scholarly opinions about Shelley.
- ㊨ demonstrate Praz's unfamiliarity with Shelley's *Frankenstein*.
- ㊩ provide an example of the leading critical view of Shelley.
- ㊪ contrast Praz's statement about Shelley with Shelley's own self-evaluation.

**【形式】**

- ・大問 3： 200～300 語程度の本文に対して、内容理解の問題が 4 問。
- ・大問 5 or 6： 200～330 語程度の文章に対して、内容理解の問題が 2 問。

**【分析・アプローチ・MAX 感想】**

大問 1 のミニバージョンで、設問も内容理解の 5 択に特化したものと考えればよい。おおよそのアプローチや解き方は大問 1 を参照のこと。特に大問 3 は文章の難易度も高く、選択肢の抽象度も高いものがあるため、本文の文脈をしっかり 1st Reading で見極めて読んでいくこと。目安となる時間は大問 3 で 8 分、大問 5 or 6 で 6 分とする。

なお、2018 年度の大問 3 は文学がテーマとなっている通り、北里大学は理系であっても文系的な内容を出す傾向がある。

大問 4

【2018年 大問4】

Ⅳ. 次の会話文を読んで、論理的に意味の通る内容として完成するように、 ~  の空欄に入る最も適切なものを、 ~ の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。すべての選択肢が入るわけではなく、また、各選択肢は一度しか使えません。文頭にくる語もすべて小文字の書き出しになっています。

Student: Excuse me, is this the accommodation office?

Officer: Yes, how can I help you?

Student: Well, I've got a bit of a problem. I'm staying in the Barnes dormitory, and on Monday, the dorm director came by and told me that I would have to move out by this Friday.

Officer: Really? ()?

Student: For the last ten weeks.

Officer: I see. Have you been doing one of the summer courses here then?

Student: Yes, I've been doing the Academic Language course since the beginning of July.

Officer: I guess () .

Student: No, I thought I would be able to stay there for the whole year. I'm afraid I didn't read the small print on the documents I got when I moved in.

Officer: Oh dear. So, you're looking for somewhere to stay then.

Student: Yes. I have no idea where else to go or where to look.

Officer: Well, I'm afraid all the places in the dorms are full. (). You'll have to share it with three or four other students. Meals aren't included in the price of a shared household, as they are in the university dorms. You'll also have to contribute to the electricity and water bills.

- where can I find out about these houses
- you don't know where I can look for a new place to stay
- why can't I stay in the dorm where I am now
- you should phone up the YMCA immediately and book a bed in advance
- the best thing you can do now is look for a room in a private house
- how long have you been staying in the Barnes dorm
- you didn't realize that your accommodation there was only temporary
- it'd be useful to know where these places are

**【形式】**

200～250 語程度の会話文に 6 つの空所あり、そこに入る語句や文を 8 つの選択肢から選ぶ。

**【分析・アプローチ・MAX 感想】**

この問題のポイントは 6 つの空所に対して 8 つの選択肢が与えられているということである。もし、単純な 4 択問題のように、1 つの空所に対してそれぞれ 4 つずつ選択肢が与えられているのであれば、読みながら空所を埋めていくこともある程度は可能であろう。しかし、この問題では、全体を読んで会話の全体像を把握してから「この選択肢はこのあたりに入るはず」、「この選択肢はもっと後の文脈だろう」とある程度めどをつけながら答えていく必要があるし、そうでなければ効率が悪い。

しかし、ただ文脈の中で選択肢を判断するのではなく、8 つの選択肢をさらに効率よく振り分けて考えていきたい。あまり時間に余裕がないので、細かく分けていくことが逆に時間の浪費につながっていくリスクもあるが、せめて以下のようにどちらの発話者の選択肢になるのかだけは頭の中で意識しておくスマートに解くことができる。

<前ページの例題の場合>

26～31 の各空欄の発話者は以下の通り。

26	Officer
27	Officer
28	Officer
29	Student
30	Student
31	Officer

さらに 8 つの選択肢の発話者は以下の通りと推測できる。

①	Student
②	Student
③	Student
④	Officer
⑤	Officer
⑥	Officer
⑦	Officer
⑧	Officer/Student

これを意識するだけで理論的に 3 つの空所に 4 つの選択肢を入れる問題にグレードダウンさせることができる。これに文脈判断で選択肢を判断していけば、ほぼほぼ確実に大体の選択肢を埋めることができる。

多重選択肢ということもあり、多少時間がかかるが、5～6 分をめどに進めたい。またここは上記の意識を持てば正答率は高く維持できる。ここは得点源にし、できれば全問正解を目指したい。なお、問題の性質上、1 問間違えているとその選択肢が入るべきもう 1 問を間違えている可能性もある。

大問 5

【2018年 大問 5】

V. 次の **32** と **33** の対話を読み、その後の質問の答えとして最も適当なものを、それぞれ  ① ~  ⑤ の中から一つずつ選びなさい。

**32**

Karen: Excuse me, could you tell me how to get to Paradise Park?

Martin: I wish I knew. I'm trying to get there myself, but I seem to have lost my way. I should have gotten better directions before I left my hotel.

Karen: It's got to be around here somewhere. Let's check at that gas station. I'm sure someone there will know.

Martin: If they don't know, I believe we should go back into the city and get help from a police officer.

Question: Who will they ask for directions?

- ① Martin suggests asking help at the automobile service station.
- ② Karen thinks that they could get directions from someone at a gas station nearby.
- ③ Martin believes the best place to find out the park's location is at a police station.
- ④ They decide to go back to Martin's hotel to ask for help in finding it.
- ⑤ Karen is positive that the park is nearby, so she suggests they keep looking without asking for help.

【形式】

短めの会話に対し、内容理解の問題が1つ出される（×2セット）。

【分析・アプローチ・MAX感想】

2018年度に新設された会話問題である。少なくとも2018年度のこの問題に関しては、さらっと解ける問題なので、1つ1~2分程度で時間をかけずに解き、2問とも正解するべし。2017年度の大問6のメール問題、2018年度の大問6のこの会話問題のように、1つだけ難易度が低い問題が含まれているように感じた。

【2018年 2月10日 理工 大問5】

VII. 次の通知を読み、下記の **36** ~ **38** の設問の答えとして最も適切なものを、それぞれ  ~  の中から一つずつ選びなさい。

**Important Notice to Customers**

To: All Customers  
 From: Lone Pine Valley Power Company  
 Date: January 29, 2018

This notice is enclosed to inform you of a rate increase that will become effective May 15, 2018. The Colorado Public Utilities Commission authorized Lone Pine Valley Power Company to adjust the rates it charges both business and residential customers. Most residential electric power users will see increased rates of 15 percent. Business users will see a 15-percent reduction in power rates. The purpose of this revision is to improve the business climate<sup>\*1</sup> in the eastern sector of Colorado. The modified rate structure at Lone Pine Valley is in line with similar changes throughout the state, and is also the first rate increase for regular household electricity customers for more than ten years.

Residents with low annual incomes are eligible for an exemption<sup>\*2</sup> from the rate change. In order to qualify for the exemption, you must have a household income of \$25,000 or less per year as shown on either a US federal tax return or a Colorado state income tax return for the year prior to qualification. Exemptions are granted one year at a time with reapplication required for each succeeding year.

There will be staff available to answer questions from the public about the exemption on Saturday, March 24, 2018. Comments on the overall rate change can be given to Lone Pine Valley Power Company until that date, which will then be forwarded to the Colorado Public Utilities Commission for their consideration.

Stanley Dominguez  
 Colorado Public Utilities Commissioner

注 <sup>\*1</sup> business climate 「経営環境」

<sup>\*2</sup> exemption 「免除」

**36** What will happen on May 15, 2018?

- An electricity rate increase of 15% will be announced.
- Exemption questions will be answered for those who are eligible.
- The electricity rate change for resident and business customers will begin to operate on that day.
- Details of the electricity rates changes will be announced.
- Consumers wanting to qualify for an exemption should attend the planned meeting.

**【形式】**

メールを読み、3～4つの問題に答える。

**【分析・アプローチ・MAX感想】**

2017年度の問題は簡単であったが、2018年度は多少難易度を感じるものであった。メールにありがちな文章の裏にある書き手の意図やニュアンスを見分ける設問もある。なお、長文、会話、メールといったように様々なジャンルを出題するところに英語作問者のこだわりを感じてしまう。

大問 8

【2018 年 2 月 10 日 理工 大問 5】

VIII. 次の英文の意味が最もよく通るように、それぞれ ㉠ ~ ㉢ の語を各空欄に一つずつ入れて英文を完成させ、**39** ~ **43** の空欄に入るものを選びなさい。ただし、文頭にくる語もすべて小文字の書き出しになっています。

Looking at behavior to learn about an animal's mental experience is precisely the idea examined in some cleverly designed recent experiments. The researchers used not dogs, (**39**) that shopworn research subject, the laboratory rat. The behavior of rats in cages may be the (**40**) largest contributor to the body of psychological ( ). In most cases, the rat itself is not of interest: the research isn't about the rat per se. ( ), it's about humans. The (**41**) is that rats learn and remember by ( ) some of the same mechanisms that humans utilize — but rats are easier to keep in tiny boxes and subject them to restricted stimuli in the (**42**) of getting a response. Thus, the millions of responses by many laboratory rats have greatly (**43**) our understanding of human psychology.

- |             |                |         |
|-------------|----------------|---------|
| ㉠ informed  | ㉡ but          | ㉢ using |
| ㉣ knowledge | ㉤ single       | ㉥ hopes |
| ㉦ notion    | ㉧ surprisingly |         |

【形式】

150 語程度の文章にある 8~10 つの空所に入る選択肢を選ぶ。解答するのはその中で指定されている 5 つの空所の分だけである。

【分析・アプローチ・MAX 感想】

2018 年は標準レベル、2017 年はやや難。文脈、品詞の両面から判断してふさわしい語を入れていく。なお、品詞や文法面だけ見ても、以下の様な判断ができる。

39	not とセットで使う接続詞	40	largest contributor を修飾する語
空所 1	名詞	空所 2	接続詞か副詞
41	名詞、that につながる	空所 3	名詞か動名詞 (by の後ろ)
42	名詞	43	過去分詞 (have Ved O の形)

読みながらいきなり空所に入れていく方法でよい。余分な選択肢を消去するためにも指定されていない空所にもしっかりと選択肢を入れていくが、仮に指定されていない部分で解答に躓いても、指定されている部分の解答に支障がなければそこは割り切って進めよう。の 6 分。